

佐賀新聞記事目録年表（七）

八田, 千恵子
佐賀新聞社

<https://doi.org/10.15017/13669>

出版情報：エネルギー史研究：石炭を中心として. 9, pp.135-145, 1977-12-04. エネルギー史研究会
バージョン：
権利関係：

佐賀新聞記事目録年表 (七)

八 田 千 恵 子

西暦年号	月 日	項	記 載 収 録 事 項 (県内)	記 載 収 録 事 項 (国際・国内)
明治十八 (一八八五)	一・七	1.	<p>※紙面一部破損</p> <p>○雑報 ■山根検事帰庁に付き三瀬綾一郎の代理を解く ■一月三日に佐賀新聞社開業式兼百号祝燕を挙行 ■佐賀新聞社開業式の鎌田県令の祝詞 ■九三銀行の閉店 ■多数の高齢者 ■消防組演習</p> <p>○社説 (休刊中ノ景状ト感覺) ○雑録 ■一日所見 ■歌 (振風校本庄実、他二八名)</p> <p>○佐賀県録事 ■狛用銃壳買譲与之節は出願するに及ばず其時々可届出 (乙第百九拾八)</p> <p>○雑報 ■県庁彙聞 (菱田真太郎は福岡へ出張。早瀬豊義、入江雪雄は帰庁。新谷真滝、加藤繁樹、竹添重厚、古瀬来助、佐竹源吉は酒造検査員に。千綿源治、上戸庸八郎、木原盛太はそれぞれ自家用料酒検査のため管内の三部へ、今井喜四郎は年賦金延納に付各郡へ出張) ■佐賀新聞社開業式での江副靖臣の答詞 ■池上村、今古賀村両小学校は西川、中野、布上の三議員の尽力により再開校す。 ■官印、官文書偽造騙取犯への裁判言渡書</p>	<p>○官令 ■火薬取締規則 (太政官) ○朝鮮事変要報</p> <p>○雑報 ■叙位 ■星亨保釈</p> <p>○官令 ■火薬取締規則 (太政官) ○長崎県録事 ○朝鮮事変要報</p> <p>○雑報 ■司法省では定員、俸給を定む ■米国大統領よりの通知書に「日本の特立平等を承認すると共に、日本より西洋諸国と同様の交際をなさんがために、申込むべき報酬の条件をも異議をなさざるべし」と (日本ヘラルド新聞) ■仁礼少将の海軍拡張論 ■長崎紡績所開業式及び石田英吉県令、合川定生の祝詞</p> <p>■日本、朝鮮諸港より清韓各開港地間の里程 ■自由魁は解停</p>
		2.		
		3.		
		1.		
		2.		
		1.		
		2.		
		1.		

西暦年号	月 日	項	記 載 収 録 事 項 (県内)	記 載 収 録 事 項 (国際・国内)
	一・九	1. 3.	<p>1. 薄情もの■悪ひ品行■騙取(佐賀の乱と朝鮮事変を利用したも の)○社説(活眼ヲ支那ニ注射セヨ)○雑録■短歌(鶴田種包、 他二八名)</p> <p>2. 佐賀県録事■九星六曜吉凶表(浅野栄蔵出版)、明治十八年略 曆(大富金次郎出版)、五行配官弁解(藤の井徳兵衛出版)、農 家便利表(松浦波一郎出版)、神武天皇即位紀元二千五百四十 五年明治十八年曆(七栗市三郎)は発売指止相成候(甲第百廿)</p> <p>3. 雑報■県庁彙聞(大津加蔵は山林官民有区别調査のため西松浦 郡へ、益田常喜は畦畔素地々代調査のため東松浦郡へ出張。陳内 利武は佐賀中学校書記に、神埼郡書記渋谷敏は小城郡書記を申付 らる)■垂井重明は殉国者招魂社並に墳墓実地精査として巡回せ らるる由■佐賀始審裁判所開庁■師範学校開講■松永広一は片田 江に料理店開業す■宅地経界争論事件(藤津郡)の裁判言渡書 ■朝鮮事変に関する春野千枝の投書あれども誹議の言少なからざ れば没書■某村の胡蝶役場の腐体裁(胡蝶代理筆生が地方税を増 賦す)</p> <p>1. 乱暴者■煤大黒人を脳す■無辜の盗人■悪因悪果■基肄郡宮浦 村で失火○社説(民権家ニ望ム)</p> <p>2. 寄書■地方有志家ニ望ム(岩岐 河内格之助)</p> <p>3. 雑報■林双は長崎へ出張■新馬場花月亭での新年宴会は先憂会 其他で出席者百四名の多きに及びしと■師範学校開講式での祝辞 ■宅地経界論事件(藤津郡久間村)の裁判言渡書■三根郡市武村 出身の福山又市は現在広島県衛生会長で月俸六拾円に大出世す</p>	<p>1. 官令■火柴取締規則(太政官)○朝鮮事変 要報</p> <p>2. 雑報■地租五厘を減額の噂■虚無党死刑(魯国)■十八年各軍管にて徴収さるべき兵員の 総計は二万九千六百七十三名■民籍条例を協議中■明治十七年中の太政官布告は計卅 三件、布達は計卅一件(布告布達一覽表)</p> <p>3. 栃木県で銀鉱発見</p> <p>4. 官令■火柴取締規則(太政官)○朝鮮事変 要報</p> <p>5. 雑報■行政裁判所設置の方法規制草案は已 に脱稿す</p>

3. ■佐賀郡某役場の騒動立役者委員の早替 ■誤権柄 ■重罪犯神崎郡境原村旧戸長を就捕

3. ■大根と薪の盗人を捕獲す ○正誤 ■蝴蝶厄場の腐体裁 (※九日付) 取消 ○社説 (人民ノ幸福ハ何レニ在ル乎) ○雑録 ■農工商ノ嘆声 (鬼島子)

4. ○寄書 ■地方有志家ニ望ム (河内格之助)

1. ○佐賀県録事 ■佐賀県小学校教則 (甲第百貳拾式)

2. ○雑報 ■新馬場劇場で杞憂会新年演説会が開かれ聴衆三百余人、弁士は児玉、石丸、秋重、古閑その他三人 ■英人フルベツキ宣教のため来佐の予定 ■唐人町荒物商空閑佐一郎は水書草紙の便利なることを知り種々工夫を為し漸く成效を遂ぐ、販路の開くや疑ひなかるべし ■佐賀市街戸口表 (明治十七年十一月十五日現在) ■変痴戯騒動

3. ■芝居 ○正誤 ■裁判所は未だ開庁無之よし報知あり (※九日付を) 取消 ○社説 (活眼ヲ支那ニ注射セヨ) ○寄書 ■国家ノ精神 (洞哉生)

4. ■短歌 (山領利貞、辻儀介、斉藤英称)

1. ○佐賀県録事 ■明治十八年略暦 (川名保五郎出版) 発売差止 (甲第壹) ■明治十八年乙酉年略暦 (松村新太郎出版)、明治十八年略暦 (井上茂兵衛出版) 発売差止 (甲第貳) ■布哇国移住出願手続 (乙第壹)

2. ○雑報 ■大坪兵次は熊本県へ出張 ■馬鹿げた話し ■巫山戯ものの場句

○官令 ■火薬取締規則 (太政官) ○清仏彙報 ○朝鮮事変要報

○雑報 ■政事始の布告第壹号はシコタン島を色丹島と改称せし事なり ■在北京榎本公使帰朝の電報 ■法官黜陟等の大改革 ■判任官登用規則の草案編制 ■憲兵拡張 ■柳川で貨幣賈造発覚 (中外物価新報) ■銀貨相場等に朝鮮事変の影響 ■西班牙国で大地震 ■土陽新聞は解停に ■司法省では定額金凡そ十二万円を減少したりとか

○清仏彙報 ○朝鮮事変要報

○雑報 ■中村剛は民事に於ては定めなき敬慎願書を俸呈されし処更に北村判事に於て事件を審問せらるべき旨達せられたる ■露国朝鮮

西曆年号	月日	項	記載社録事項 (県内)
	一・一五	<p>1. ○正誤■悪い品行(※八日付) 取消○社説(活眼ヲ支那ニ注射セヨ)○寄書■国家精神</p> <p>3. ○佐賀県録事■布哇国移住出願手続(乙第巻) ■明治十八年徴兵徴集人員配置表(告第巻)</p> <p>2. ○雑報■大蔵省から神鞭知常、原新太郎来県し新馬場一ツ屋へ止宿。原新太郎は県官を随へ小城郡出張■三浦通晃は藤津郡へ出張</p>	<p>○官令■根室根室国花崎郡の内「シコタン」島自今千島国へ編入色丹郡と称す(太政官)</p> <p>■軽罪に係る控訴の規則(太政官) ○清仏彙報○朝鮮事変彙聞</p> <p>○雑報■長崎の勧工場は大波戸の元旭会社の跡に移転するよし■長崎勧工場の跡に石田県令官宅を新築す■長崎三友銀行は松の森千秋亭に於て新年宴会■村田銃とスナイドル銃■大山陸軍卿一行独逸国伯林府滞在中の話■久留米で耶蘇教宣教■地租米納案廃案に帰す■讃岐国小豆島近海で珊瑚樹を発見■滋賀県高島郡岩瀬村の借金党(中外電報)</p> <p>○雑録■長崎素平連第八回情歌競、萩迺舎如水評(案本膳はか二四名)</p>
	一・一六	<p>1. ○佐賀県録事■布哇国移住出願手続(乙第巻)</p> <p>3. ■困った脈取り■不孝ものめ■拘引せらる○正誤■内務卿九州巡視(一一日付) 取消■寄書「国家ノ精神」(※一三日付) 一部誤字訂正○社説(兵ノ要ヲ論シ併セテ朝鮮談判ノ結局ヲ祝ス※一部削除)</p>	<p>○官令■国道の等納を廃し、其幅員は道敷四</p>

2. 雑報 ■官私印官文書偽造詐欺取財犯の弁護代言人に野田常貞 ■明治十八年第壹期の重罪裁判は十五日開庁 ■殊勝者賞詞（金立村永石宣教、野伊八、大石伊平太、北島新蔵、大野浅吉、福地儀八、原金八、池田利吉、花島武七、原卯八、八谷為右衛門） ■養父郡西尾川筋に幼稚の死屍、搜索するものなく困迫の為川中に捨てたるものならん ■世上困迫のためにや村落、市街を問はず悪漢横行
3. ■人畜別たす ■揃をた醜行 ■秘密なる御加持 ■餓鬼女郎 ○社説（十八年ニ望※一部削除）
1. 佐賀県録事 ■布哇国移住出願手続（乙第壹）
2. ○雑報 ■江口知英は藤津郡尾上峠再実測として出張

間以上、並木敷、湿抜敷を合せて二間以上、総て七間より狭少ならず（太政官） ■火薬取締規則被定候に付て管轄庁に於ける心得（太政官） ■憲兵卒概則（陸軍省） ○朝鮮事件

○雑報 ■元老院、参事院の転任の風聞 ■陸軍士官学校生徒募集 ■福島県勅宿仲衛は国事犯の嫌疑で再度収監され無罪放免に ■女子の電信技術生は各地方電信分局主任技術生の妻女に限り採用し月俸は十五円から七円 ■ランブの害を防ぐ方法 ■日本全国現在人員（男女計三千七百四十四万二千九百六十六人） ■布哇国出稼人福岡県で二百人 ■ゴルドン將軍の無事 ■大統領改選後米国の商況 ■伊豆地方の借金党も亦爆発弾を用ふ

○雑録 ■長崎素平連第八回唱歌競（虎逸ほか二〇名）

○官令 ■憲兵卒概則（陸軍省） ○朝鮮事件

○清仏彙報

○雑報 ■新列華族へ特賜の噂（侯爵拾萬、伯爵五萬、子爵式萬円の五朱利付金禄公債証書） ■国会議事堂建設六月に着手予定 ■南洲翁の遺書「対韓策」 ■電線製造の工妙 ■日本人の急劇は某国人の緩慢に優る ■靈鳥（鶴） 禁猟要求 ■大宮、宇津宮鉄道工事着手 ■明治十七年中全国新聞記者処刑の数（通算罰金千七百九十六円二十五銭） ■札幌県下市来郡で炭山発見 ■鹿兒島県では牛肉売買規則を布達の子

西曆年号	月 日	項	記載収録事項 (県内)
	一・一八 (日)	<p>3. 1. 2. 3.</p> <p>1. 4. 3.</p> <p>○雑報 ■長瀬町旗崎文八は日新小学校建設に金員を寄附し又学事普及に熱心 ■美人虫を喰ふて飽かず ■不行跡 ■喰逃げ ■拐帯 (※もちにげ)</p> <p>○正誤 ■律詩 (※十六日付) 一部訂正 ○社説 (活眼ヲ支那に注射セヨ、朝鮮講和条約ヲ読ム) ○寄書 ■衰運ヲ挽回スルハ地券ノ実価ヲ得セシムルニアリ (北遊醉士)</p> <p>○佐賀県録事 ■郡役所事務数件取調様式 (乙第五)</p> <p>2. ○雑報 ■県庁彙報 (野田豹吉は小城郡書記に、渋谷敏は学務課に、絹川嘉久馬、執行軌正は収税課に)</p>	<p>記載収録事項 (国際・国内)</p> <p>定 ■秩父暴徒の田代栄助、加藤鉄平、内野総平に死刑 ■福多の米況 (福岡新聞)</p> <p>■東京大雪 ■独乙人乃日本人評 ■沓岐通信 (武生水治安裁判所は一月一日開庁式・農学校近く開校す、校長山本亀三・金銭に困迫し縊死せる者多し)</p> <p>○官令 ■憲兵卒概則 (陸軍省) ○朝鮮事件</p> <p>○清仏彙報 ○雑報 ■代言人資格年限限定の噂 ■羅馬字 (※ローマ字) 会規則書 ■銀行休業の影響学校に及ぶ (京都府)</p> <p>■大阪で耶蘇退治のうた大流行す (その歌詞)</p> <p>○官令 ■府県立学校校長一等教諭の儀特別の詮議を以て奏任となすを得比旨相達候 (太政官)</p> <p>■華族懲戒例 (太政官) ○朝鮮事件 ○清仏彙報</p> <p>○雑報 ■栄転栄進の風説 ■華族大礼服の徽章 ■大山陸軍卿一行の帰朝予定と四師団八鎮台計画 ■越後国荻田郡山中村の地稅減額請願の理由 ■紐育における日本製茶商況 (将来純色</p>

3. ■杵島郡の米穀改良の効を奏す。殊に横手、牛屋、築切遠の本村は美質○正誤■拵帯(※一八日付)一部訂正○社説(寧ろ鶏口トナルモノ牛後トナル勿レ)○寄書■沓岐国諸君ニ告グ(在長崎、近藤秀次郎)

4. ■短歌、狂歌、詩(秋芳園東離ほか四名)

1. ○佐賀県録事■小城郡池上ヶ里外二村戸長小原包祥の公用印遺失届出(告第貳) ■大阪府下奈良の博覧会に管下有志者に於ては可成出品可致(告第参) ■戸籍取調表(乙第四)

2. ○雑報■師範学校、中学校へ学事奨励のため文部省より附与せられたる書籍及び器械■田中信発は佐賀郡戸長役場を巡回■元町称念寺へ設けありし徴兵署は十九日閉鎖し大久保司令官は大分へ

■三根郡市武部西島小学校は岡村逸作戸長、大石武七、吉村佐太郎の尽力で新築再開校、十日に開校式を執行す

3. ■是で改心せよ○社説(活眼ヲ支那ニ注射セヨ)○雑録■和漢蘭草(醉多道士)

1. ○佐賀県録事■徳島県管下各港湾河岸出入船舶商品等取調につき関係者は夫々届出べし(告第四、乙第七拾八)

2. ○雑報■県庁彙聞(糸山与三、千綿文八は杉樹挿付をよび官林巡視のため各郡へ出張) ■強盗犯の弁護代言人に米倉経夫、官印及び官文書偽造詐欺取財未遂犯の弁護代言人に野田常貞■某氏は丸三銀行休業で気病■稲盗人■酒故火災(死)とは気の毒■強盗■如何に淫婦なれば泣

3. ○正誤■養父郡西尾川に幼稚の死屍(※一六日付)佐賀警察署よ

製茶法を改良し、価格を適当にし需要を測りて供給を進め、着色茶を排却し、我純色茶を以て市場を占有せよ■魯国虚無党の再興■西洋諸国運輸交通の進歩

■石油の騰貴せしより、石油に混合物をなして販売せる奸商あり(東京新聞) ■長崎区内の麻疹病の原因○正誤■伊豆地方借金党も亦爆裂弾を用ゆ(※一六日付)取消

○官令■華族懲戒例(太政官) ■徴兵事務条例中の在学証明書の書式(文部省) ○朝鮮事件

○雑報■華族■神奈川、千葉県で天然痘流行 ■地質調査学校設立計画■鹿児島大学校即ち造士館は開校近し■静岡県庁新築の廃議(函右月報) ■魯国虚無党再興■夜光の玉(新潟県西頸城郡)

■長崎情況○正誤■江州にも借金党(※一五日付)取消

○朝鮮事件

○雑報■日本政府より日耳曼のビスマルクへ旭日一等勲章を(上海の新聞) ■巡查志願採用方■代言人試験委員に名村泰蔵ほか■ヘンリー・アル・カッセルは鉾石を溶し金分を取る発明(ヘラルド新聞) ■秋田県の暴風雨

西暦年号	月日	項	記載収録事項 (国際・国内)
	一・二三	<p>1. 取消要求文○社説(寧口鶏口トナルモ牛後トナル勿レ)○寄書 民権拡張セザル可カラズ(宍岐 河内格之助)</p> <p>○佐賀県録事■当県下に於て貸座敷及び芸娼妓營業を為さんとする者は本管官衙の添翰を以て願出、他府県に於て營業の場合には所轄警察署へ願出添翰を受くべし(甲第三) ■地祖に関する諸帳簿様式(乙第八) ■証書類調理順序(乙第拾)</p> <p>2. 雑報■松原町市中務所仕組所内へ議事堂及び迎賓館新築の事務所を置き「公会堂建築事」の招聘を揚げたり■明治十七年中民事刑事の統計■謀殺犯、殴打致死犯、強盜及び囚徒逃走並に官吏に抗拒して負傷せしめたる被告の弁護代言人にそれぞれ酒井常次、川原伝治、副島勝忠■佐賀郡相応津の貧困者へ、古賀吉平、柴田金一は玄米を救恤たり■騙られたり</p> <p>3. 鶉胡鳥(役場の騒動立役者委員の早替り(※十日付)の正誤旁々)○社説(寧口鶏口トナルモ牛後トナル勿レ)○寄書■教育論(在丹邸 西門主人)</p> <p>1. 佐賀県録事■小城町字蛭子町古川二兵衛所有の宅地はか十二件の遺失或は流失等届出(告第五) ■町村会規則第二十条を一部改正(甲第六)</p> <p>2. 雑報■田中忠太郎は船燈検査のため各郡を巡回■強盜犯の弁護代言人に大塚鉄造■明治十七年の訴訟件数■妙計</p>	<p>○朝鮮事件</p> <p>○雑報■宮中御歌会の兼題一月暁更鶏、二月初聞鶯、紀元節和風報春、三月源親房、四月夜思花、五月首夏雨、六月泊水鶏、七月班婕妤、八月幽栖菽、九月魚村月、十月古渡霧、天長節紅葉映日、十一月願盲院、十二月冬神祇■内外船艦情況■越後国刈田郡山中村の地租減額請願の理由(自由新聞)</p> <p>○朝鮮事件</p> <p>○雑報■兌換紙幣の発行は来二月ごろに■明治十六年七月より十七年六月までの官報摺高は二百二十九万四千六百零七部■警醒社発売の東京毎週新報は基督教新聞と改題す■紀州子ルの来歴■合衆国貨幣の鑄造■長崎築町松田商行の処有船源丸(船長江口清八、事務長</p>
	一・二四 (日)		

一・二五

3.

■福岡県大の島の火事○社説（寧口鶏口トナルモ牛後トナル勿レ）
○雑録■出ソーデ出ナイ（浮羅漢）■貧家精神論（長崎抜天痴史）

4.

■詩二首

○佐賀県録事■明治十七年八月乙第百三拾号達に第七条及び山林
通信事を追加（乙第拾弐）■第一期重罪裁判所一月十五日より開
庁候（告第六）■明治十六年九月乙第四拾号を一部更正候（乙
第拾四）■官吏恩給令及び戸長退官賜金法に当該する者は、勤続
年数、月俸額等を詳記し請求当庁へ申出べし（乙第拾五）

2.

○雑報■坂元規貞は学区巡視のため佐賀、神埼郡へ

3.

■困った雪隠あらひの御婆様ンだ■犬奸遠からず我公の耳に入る
○正誤■訴訟件数（※二四日付）一部訂正○社説（活眼ヲ支那ニ
注射セヨ）○雑録■五罪ニ食ム場所ノ何ソ多キヤ（食色性人）

4.

■詩二首

○佐賀県録事■佐賀、小城、杵島、藤津沿海に於て毎年一月より
六月まで揚巻員を採捕することを禁ず（甲第九号）

一・二七

小林）の人氣

○朝鮮事件○清仏彙報

○雑報■在官中死去の百武兼行に俸給三ヶ月
分を下賜■陸軍拡張■海軍省は仏国へ軍艦三
艘を注文■西南の役にて分取せし日本刀二千
余振はサーベル形に製して貯へありしが今度
熊本鎮台へ送附されしとか■英国のハレッセ
ルが日本画を評せり（美術新報）■秩父暴徒
の刑期宣告■合衆国貨幣の鑄造■布哇国出稼
人八百五十人と小供百余人は廿七日頃出帆（
中外物価新報）■長崎通信（石炭、洋銀、諸
貨の取引）■鹿児島新聞社前社主野村盛詮、
印刷人石神善太郎は入獄中の処廿一日刑期満
限出獄■硫黄島の噴火徴候の報
■浅草で失火

○官令■士官生徒入学検査格例（陸軍省）
○朝鮮事件

西暦年号	月 日	項	記載収録事項 (国内)
	一・二八	<p>2. ○雑報 ■宮中御歌会始の鍋島直大の歌 ■福島輝世、鬼崎精一は中央共進会事務取扱として出京 ■相良享に祭資料金五拾円下賜 ■第三回地方衛生会を開設 ■無罪放免 ■揚巻貝採捕の禁には近傍の漁夫幾分か困るならん ■清水明勲の死去に伴い、米穀改良会社は旧城東門内の中野致明宅に移転</p> <p>3. ■強盗 ■西田代町真覚寺徒弟の自殺 ■強賊 ○社説 (活眼ヲ支那ニ注射セヨ) ○雑録 ■狼狽を究メタリ (多欲坊)</p> <p>4. ■詩 (梅穂老頑、本庄実、森周蔵)</p> <p>2. ○雑報 ■中島十太郎は官地拝借願其他検査として各郡を巡回 ■弁護代言人の変更 ■奇篤な車夫 (杵島郡下小田村竹田嘉一)</p> <p>3. ■高尾村の米商松本半蔵計略に誑惑たり ■可憎悪奸 ■強盗 ○社説 (東京横浜毎日新聞社カ倫敦タイムズ新聞ヨリ訳出スル所ヲ讀ミテ魯国ニ第二ノ始皇帝有ヲ觀ル) ○雑録 ■肥前誌 (赤松仙史)</p> <p>4. ■短歌 (大枝元人)</p> <p>1. ○雑報 ■武田直道、鬼崎精一は神埼郡腹巻山牧場検査へ ■松見安次郎は武雄警察署へ配転 ■水田に水を漕漑ぐ水揚器械を見本品を県勸業課で製造 ■棄兒 ■貧ゆえ官を欺</p>	<p>○雑報 ■宮中御歌会始の御歌 ■我邦と締盟各国との条約改正談判は既に整ふ ■小樽、敦賀、馬関を開港の予定 ■認可済みの神仏両道の管長 ■十八日の上野公園の大運動会の景況 ■硫黄島噴火徴候の視察 ■東京朝野新聞は発行停止</p> <p>○官令 ■士官生徒入学志願者心得 (陸軍省)</p> <p>○朝鮮事件</p> <p>○雑報 ■宮中御歌会始御歌 ■上野公園の大運動会景況 ■仙台鎮台榴ヶ岡に砲台を新築 (報知新聞) ■西洋と東洋の償金額の差 ■米國医家テーラが脚氣病因を発表 (脚氣病虫は米、麦、水等日本人第一の食物より発生す)</p> <p>○官令 ■士官生徒入学志願者心得 (陸軍省)</p> <p>○朝鮮事件</p> <p>○雑報 ■米國ニユーオルレヤンス万国博覧會敷地 ■医籍簿 ■大阪造幣局へ英國産の銀塊 ■伊藤、松方、山県、西郷の四参議は共同運</p>
	一・二九		

3. ■変な金儲け ■姪婦実母を誑惑す ○社説（東京横浜毎日新聞社が倫敦タイムズ新聞ヨリ訳出スル所ヲ読テ魯国ニ第二ノ始皇帝有ヲ観ル）○雑録 ■肥前誌（赤松仙史）

2. ○雑報 ■神埼郡に警察署新設の要望 ■殊勝者に賞与（杵島郡築切村小野利右衛門、甘久村御厨吉三郎、築切村小野初一、武雄村杵島貯蓄会社渋谷清六、戸ヶ里村川崎伊吉、蘆村岩永松兵衛） ■神埼郡広滝山辺に二百有余人の貧民集合を徳川権七が聞知、廿三日其場に馳行、集合なし居る理由抔聞糾、当時柄数人数集り居ては官の嫌疑も恐るのみならず却て費もたば早解散して銘々其分限を守り節約をなすより外なしと解示せしに一同解散したり ■馬耳東風連の隊長

3. ■変な金儲け ■姪婦実母を誑惑す（※二九日付） 事実相違あり ○社説（我征討軍ハ恐ハ支那ニ進入スルニ及バサランカ） ○雑録 ■ヤッパリ夢（長崎抜天痴誌）

4. ■看板ノ有無ニアラス（世話屋記） ■詩（西偶草奔臣）

輸会社と三菱会社の正副社長を召喚し、両社の競争甚だしきよりその極遂に海上の危険を招くことあらんを憂慮し説諭（東京新聞） ■幽魂の文通（西字新聞） ■浜松で大火

○官令 ■明治十七年十二月朝鮮国京城に於て生起せし事変に關し同国政府に談判せし結約（太政官） ■士官生徒入学志願者心得（陸軍省） ○朝鮮事件

○雑報 ■商標条例附加 ■兌換拾円券出来 ■公私立学生多数集合粗暴危険の行為なき様学校に於て敵しく取締むべし ■朝鮮駐米公使フート長崎に到着 ■上海に巡査（分部善一郎、山村虎太郎）を置く ■教導団生徒の現員は九百四十二名、士官学生四百十八名、幼年生百二十一名 ■防滝之助が蟹肉の月夜に減ぜる理由を

■山梨県で大火